

IAEA

総会

日本代表演説

IAEA(国際原子力機関)の総会は毎年9月に開催されます。
総会での日本代表の演説は、
日本政府が全世界に発するメッセージと言えます。

安倍政権になって以降、
演説の中で福島第一原発事故についての発言が占める割合
の変化を見てみます。
合わせて
「原発事故で避難している人々の状況」
としてどんなことが語られてきたか、も見ます。

2013年9月16日 第57回総会

(参考資料②)

全演説の

約23%

が福島第一原発事故についての発言 1113文字/4799文字
(福島第一原発事故についての発言/全体)

※この年は福島第一原子力発電所事故に関する説明会を別途実施

注) 福島第一原発事故についての発言と判断した段落の文字数を
参考資料①のサイトを使って、空白無視でカウント。
同様に演説全体の文字数もカウントし、
演説全体に占める福島第一原発事故についての発言の比率を計算
※実際の演説は英語であり、文字数比較はその日本語訳を使っているため
実際に演説として費やした時間の比較としては正確ではないですが、
傾向をつかむための目安にはなるとおもいます。

福島県においては、
IAEAと、
福島県や福島県立医科大との間で
各種の協力プロジェクトが進行中です。

注) 「原発事故で避難している人々の状況」と判断した部分を引用
第57回総会の場合、かなり間接的ですが。。。

参考資料

①文字数カウント

<http://www1.odn.ne.jp/megukuma/count.htm>

②原子力委員会HP IAEA

http://www.aec.go.jp/jicst/NC/sitemap/bunya15_iaea.htm

③在ウィーン国際機関日本政府代表部HP 第60回国際原子力機関 (IAEA) 総会 日本政府代表演説
http://www.vie-mission.emb-japan.go.jp/itpr_ja/ministerstatement26.09JA_ja.html

全演説の

約31%

が福島第一原発事故についての発言 1373文字/4480文字
(福島第一原発事故についての発言/全体)

除染に関しては、その進展の結果、
本年4月、震災から初めて、いくつかの
避難指示区域が解除されるに至りました。
住民の帰還にあたっては（中略）
様々な施策に取り組んでいます。

全演説の

約19%

が福島第一原発事故についての発言 931文字/4912文字
(福島第一原発事故についての発言/全体)

福島第一原発事故によって影響を受けた
人々の生活の回復も一歩一歩進んでいます。
除染が進み、生活インフラが整備され、
住民と十分な協議を行った結果、
昨年4月以降、3つの市町村の避難指示が
解除され、住民のふるさとへの帰還が
可能となりました。

全演説の

約7%

が福島第一原発事故についての発言 243文字/3439文字
(福島第一原発事故についての発言/全体)

福島第一原発では、（中略）
除染・環境回復活動も進展し、
避難区域も縮小しています。

最後に一言

毎年徐々に福島第一原発事故の扱いが小さくなっていっています。今年はほとんどオマケ程度です。
この演説を見る限り、どんどん状況はよくなり、もはや大きな問題もなさそうです。。。
どんな課題でも、まず現状認識を正確にすることが第一歩です。
でも現状認識すらできていないのが現状なのでは？
3月11日に発せられた原子力緊急事態はまだ解除されていません。今この瞬間も、日本は「原子力緊急事態”中”」です。
だというのに、今回紹介した演説のように、政治の世界ではもう終わったことのように。
この緊急事態中に政治家が力を入れてることといえば、
TPP、オリンピック、憲法改正、拳句は国会会期を延長してカジノ。。。。脱力です。